

ASUKA III



CONCEPT BOOK

日本のクルーズ文化をつなぎ、
日本の芸術文化をつなぎ、
人と地域をつなぐ。





「飛鳥Ⅲ」は誰も体験したことのない、
新たなクルーズの未来を創造するちからとなります。

Exclusively yours

お一人おひとりに “最幸の時間”

初代「飛鳥」からお客様とともに数多の海を航り、

日本のクルーズ文化を発展させ、

進化させてきた飛鳥クルーズ。

2025年夏就航の「飛鳥Ⅲ」では、

これまで培ってきた心地よいおもてなしはそのままに、

多彩な選択肢を揃え、あらゆる世代やニーズ、

スタイルにお応えできるサービスを提供してまいります。

この船で旅することで出会う本物の体験と、

自由に豊かな空間を心ゆくまでご体感ください。





*Pioneering a New Era
of
Luxury Cruising*

新たな時代の クルーズライフとは？

「飛鳥Ⅲ」が叶える“最幸の時間”は、自分好みで楽しめる
パーソナライズされたクルーズライフ。

上質で、居住性に優れた客室は全てがプライベートバルコニー付き。
旅の目的や時間の過ごし方に応じて、3つの客室クラスをご用意しております。
6つのレストランから自分好みの場所と時間、メニューが選べるお食事、
ドレスコードは「エレガントカジュアル」で気兼ねなく楽しむナイトタイム、
大人の知的好奇心を満たす学びやウェルネスプログラム、
卓越したエンターテインメント、ワーケーションも可能な
デジタル環境を揃えて、未来の航路を開いてまいります。



*Sail with the Essence
of Japan*

日本の地域・文化と さらに深いつながりを

飛鳥クルーズは、お客様と地域とのつながり、
日本文化の魅力の発信を大切に考えております。

その思いを継承する「飛鳥Ⅲ」では、
寄港地で歓迎してくださる地元の方々との出会いを創出し、
ここでしか体験できない寄港地観光ツアーも実施いたします。
日本各地の生産者のもとを訪れ厳選した食材を用いたメニューの提供、
日本が誇る伝統工芸作品や多種多様なアート作品による空間演出など、
お客様により深く日本の魅力を伝えていきます。

そしてそれが地域活性や伝統技術の継承、
アーティストの表現の場へとつながるよう取り組んでまいります。

Where Design Meets Tranquility 新たな物語は



上質な空間から生まれる



「飛鳥Ⅲ」の船内は、クルーズという非日常の空間に、明るく開放的な光の層と日本の伝統美が融合した、唯一無二の世界が広がります。プライベートな空間となる客室は、そこにいても快適に過ごせ、充実感の味わえる居住性を大切にして設計。スタイリッシュで五感が研ぎ澄まされるパブリックスペースとは対照的に、心が落ち着く雰囲気を演出しています。

お一人おひとりが「飛鳥Ⅲ」を舞台にそれぞれの物語を描いていただく。それが「飛鳥Ⅲ」が提案する、新しい旅のスタイルです。

「アスカブラザ」(5デッキ)／3層吹き抜けのメインアトリウムは、自然の色合いでまとめられ、落ち着いた雰囲気を演出しています。ピアノの音色がこの空間を包み込みます

3層吹き抜けの「アスカプラザ」(5デッキ)に鎮座するのは
蒔絵の重要無形文化財保持者(人間国宝)室瀬和美氏による
高さ8.8m × 幅3mの壮大な漆芸作品



Every Moment is an Artistic Masterpiece

アートとともに旅する 贅沢なひととき



「グランドペントハウス」(9デッキ)をいっそう華やかにする土屋禮一氏による作品



「ギャラリーカフェ」(6デッキ)には千住博氏の「ウォーターフォール・オン・カラース」のフレスコ画



色彩豊かな平松礼二氏の作品の数々がレストラン「ノブレス」(6デッキ)を飾る

数あるクルーズ体験の中でも、「飛鳥Ⅲ」でしか味わえない最幸の時間となるのが日本の芸術文化の粋を集めたアートとの出会い。レストランやカフェなどのパブリックスペースはもちろん、客室までも日本を代表する作家の作品が並ぶ、そんな特別な空間で贅沢なひとときが過ごせます。船内での一瞬一瞬の出来事が、アート作品により彩られ、忘れられない感動へと昇華していく。それらは「飛鳥Ⅲ」にしかない卓越した体験であり、ここでは誰もが特別な存在と感ずることでしょう。

また日本のアート界を牽引する作家陣だけでなく、これからの活躍が期待される若手作家の作品、さらにはアート公募展で選ばれた作品も加わり船内は多彩なアートに溢れています。「飛鳥Ⅲ」は日本の芸術文化の多様な魅力を発信し、未来へと紡いでいきます。



Unparalleled Comfort in a Residential Ambiance

オールバルコニーで 居住性に優れた客室



船旅において、客室は一番長い時間を過ごす大切な場所。非日常の出会いと、心からくつろいでいただける居住性を重視しています。そのため「飛鳥Ⅲ」の客室は全てプライベートバルコニー付きに。刻々と変化する海と空の色彩、徐々に姿を現す港の輪郭。船上からでしか味わえない、心躍る絶景がお客様をお待ちしています。

さらに日本の生活スタイルに配慮し、ゆったりと湯に浸かれるバスタブや飛鳥クルーズオリジナル「シモンズ」のベッドマットレス、収納力の高いクローゼット、キッチンシンク付きのミニバーを全ての客室タイプに完備。妥協のないこだわりが、何日でも滞在していただく居心地の良さを演出しています。

旅の目的や時間の過ごし方で選べる3つの客室クラス

ペントハウス

至極のバトラーサービスが叶える最高峰のラグジュアリーステイ。全ての食事、寄港地観光ツアー、アクティビティがインクルーシブ*で席も確保。広々としたリビングには名画が飾られ、友人を招いてプライベートパーティーも。

- ・ロイヤルペントハウス
- ・グランドペントハウス

*インクルーシブ…
料金が旅行代金に含まれています。

スイート

リビングとベッドルームが仕切られたゆとりある空間で家族や仲間と一緒に過ごすだけでなく、それぞれの時間も大切にでき、ワーケーションスタイルにも最適。レストランや寄港地観光ツアーの先行予約が可能で船内の時間をより効率的に。

- ・キャプテンズスイート
- ・パノラマスイート
- ・アスカスイート
- ・ミッドシップスイート
- ・ジュニアスイート

バルコニー

世界が認めたハイクオリティのバルコニー客室。明るい光を取り入れ、居住性が考えられた設計で、インテリアには和紙アートを採用。はじめての旅でも心地よくくつろげます。お一人様向けの客室も優雅に過ごせる設計です。

- ・アスカバルコニー
- ・ソロバルコニー



ダイニングやカウンターテーブル付きミニバーも設えたリビングルーム。平松礼二氏の色彩豊かな作品が華を添え、大切なご友人を招いてのひとときも

ロイヤルペントハウス

Royal Penthouse

ラグジュアリーを一新する、ステイタスと個性を兼ね備えた妥協なきエレガンス。

それを体現したのが、2室のみの「飛鳥Ⅲ」ロイヤルペントハウスです。

リビング&ダイニングルーム、ベッドルーム、大海原を望むバスルームに加え、書斎やサンルーム、マルチスペースまで。

バトラーサービスや特別なインクルーシブサービスが付き、各種予約も最優先となります。

これこそが日本のクルーズにおける最高峰の客室と言わしめる“最幸のおもてなし”を象徴する空間です。



大きな窓から海や空を一望できる特等席のサンルームは、読書やリラックスにも最適な空間。海を眺めながらゆったりとした時間を過ごすのは、クルーズ体験の醍醐味のひとつでしょう

DATA

客室クラス: ペントハウス
ロケーション: 9デッキ
客室数: 2室
面積: 114.8㎡ ※バルコニーを含む
利用可能人数: 1～4名
※スタッキングベッド2台使用により4名利用可能。
【主なインクルーシブ】
・専属チーフコンシェルジュによるバトラーサービス
・寄港地観光ツアー
・レストランの席料／ルームサービス
・クリーニングサービス
・アクティビティ



ベッドルームサイドには書斎やウォークスルークローゼット、サンルームなどプライベートな落ち着く空間に



リビングルームには土屋禮一氏の雲を描いたアート作品が飾られ、格式のある雰囲気の中にも安らぎを演出しています

グランドペントハウス

Grand Penthouse

広々とした客室は、リビング&ダイニングルームから一望できる大海原の絶景と心地よさを追求した贅沢な設えが魅力。
デスクワークにも最適な書斎など、プライベートな空間も用意し、それぞれが自由にリラックスした時間を過ごせます。
またラグジュアリーな時間をお約束するために、レストランなどの予約を優先的にご案内。
これにより、特別なひとときを心ゆくまでお楽しみいただけます。

DATA

客室クラス: ペントハウス
ロケーション: 9デッキ
客室数: 4室
面積: 93.0㎡ ※バルコニーを含む
利用可能人数: 1~3名
※スタッキングベッド1台使用により3名利用可能。
【主なインクルーシブ】
・バトラーサービス(お客様のご要望により提供)
・寄港地観光ツアー
・レストランの席料/ルームサービス
・クリーニングサービス・アクティビティ



ベッドルームやバスルームからも空と海の絶景が楽しめる



Column

バトラーサービスが叶える 最高峰のラグジュアリーステイ

贅を尽くした「飛鳥Ⅲ」のペントハウスで紡がれるひとときは、非日常を体感できるラグジュアリーの極み。洋上の別世界を思わせる静謐なる空間での滞在は、比類なきクルーズ体験となることをお約束します。計算し尽くされた客室設計と空間デザイン、客室内の設えについても一つひとつにこだわり、客室の雰囲気やお客様のクルーズライフに適しているかを慎重に選定しています。

そして、飛鳥クルーズ初となるサービスとして、「ロイヤルペントハウス」では専属の、「グランドペントハウス」ではお客様のご要望に応じて、バトラーサービスが供されます。ラグジュアリーな体験に加えて、お客様お一人おひとりのニーズに合わせた細やかな配慮と心づくしのおもてなしを行うことで、「飛鳥Ⅲ」の旅がいっそう特別なものになるようサポートしていきます。

サービスの一例として紹介したいのが、靴磨きサービス。こちらは見た目を美しく仕上げるだけでなく、クリームで革に栄養を与え、靴の寿命を延ばす効果も。東京・青山で「Brift H」を経営する靴磨きの世界チャンピオン、長谷川裕也氏から高度な技術を学び、習得をした靴磨きサービスを提供します。また、ウェルカムアメニティサービスでは、乗船した時から非日常的な体験を提供。ワゴンに並べられたフィンガーフードやスイーツ類、ドリンクをお好みに応じてお召し上がりいただき、これから始まるクルーズへの期待感を高めていきます。さらに、ナイトカクテルサービスでは、就寝前のリラックスタイムを演出。体を温めて、心を落ち着かせるカクテルやモクテル（ノンアルコールのカクテル）を客室で提供します。一日の疲れを癒す贅沢なひとときをお過ごしください。

【「飛鳥Ⅲ」のバトラーサービス一例】

- ・靴磨き
 - ・ウェルカムアメニティ
 - ・ナイトカクテル
 - ・荷解き&荷造り
 - ・船内見学ツアー
 - ・エクスプレスチェックアウト
 - ・下船日の手荷物預かり
 - ・記念日のお祝い
 - ・寄港地での個人手配
- ※費用はお客様負担となります。

この他、「飛鳥Ⅲ」のスタンダードサービスとして、以下のサービスも承ります。

- ・衣類のプレス
- ・モーニングコール
- ・ピローリクエスト
- ・羽毛アレルギーの方への対応

※「飛鳥Ⅲ」ではチップは不要です。





針路を向いたベッドルームでは、目覚めると目的地が目の前に広がる感動が味わえます

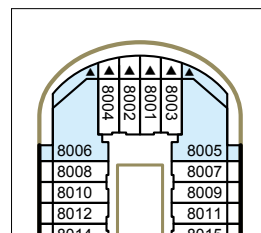
キャプテンズスイート *Captain's Suite*

船首の両サイドに位置する、針路を向いた4室限定のコーナースイート。

航海士の視点で海を眺めるような特別な体験が味わえます。

特に横浜港の大橋をくぐる際には、迫力満点の光景が広がります。

リビングエリアとベッドルーム、それぞれ異なる角度から景色を楽しめる贅沢な空間です。



広々としたリビングエリアにはダイニングスペースも用意

DATA

客室クラス: スイート

ロケーション: 8、9デッキ

客室数: 4室

面積: 87.1㎡ ※バルコニーを含む

※船首向きのバルコニーは航行中アクセスが制限される場合があります。また夜間航行中は船首向きの窓はカーテンを閉めていただく必要があります。

利用可能人数: 1～3名

※スタッキングベッド1台使用により3名利用可能。

【先行予約】

・寄港地観光ツアー

・レストラン

※寄港地観光ツアーと一部のレストランは有料です。
※先行予約にはMy ASUKA CLUBへの登録が必要です。



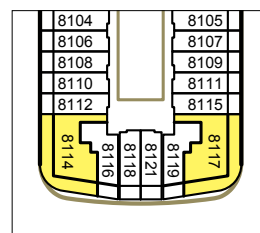


ベッドルームとバスルームからは航跡が眺められ、船旅のロマンが感じられます

パノラマスイート

Panorama Suite

船尾の両サイドに位置し、船体のコーナーを活かした広々としたバルコニーが特長の8室限定のコーナースイート。日中は青い海に描かれる真っ白な航跡が美しく、夕暮れ時には息をのむような絶景が広がります。出港時の景色もロマンティックなひとときを演出します。



DATA

客室クラス: スイート
ロケーション: 7、8、9、10デッキ
客室数: 8室
面積: 67.3㎡ ※バルコニーを含む
※デッキによってバルコニーの形状や面積が異なります。
利用可能人数: 1～3名
※スタッキングベッド1台使用により3名利用可能。
【先行予約】
・寄港地観光ツアー
・レストラン

※寄港地観光ツアーと一部のレストランは有料です。
※先行予約にはMy ASUKA CLUBへの登録が必要です。



くつろぎのリビングエリアに加えて、バルコニーは客室の2面に接した広さ。お好みの場所でゆったりとお過ごしください





飛鳥クルーズのブランドカラーである「濃縹(こきはなだ)」をアクセントカラーにした洗練されたインテリア

アスカスイート ASUKA Suite

「飛鳥」を名に冠し、日本のお客様にとって使いやすい設計を追求した8室限定の至福のスイート。
バスルームはバスタブと独立した洗い場を併設し、カウンターテーブル付きのミニバーなど
世界中どこを旅していても、客室では日本の日常に近い空間で快適にくつろげます。



リビングエリアとベッドルームは壁を隔てて対称的に配置され、それぞれの空間が異なる役割を持つ設計

DATA

客室クラス: スイート
ロケーション: 9、11デッキ
客室数: 6室+ユニバーサル仕様客室2室
面積: 48.5㎡(ユニバーサル仕様は45.9㎡)
※バルコニーを含む
利用可能人数: 1～3名
※ソファベッド1台使用により3名利用可能。
【先行予約】
・寄港地観光ツアー
・レストラン

※寄港地観光ツアーと一部のレストランは有料です。
※先行予約にはMy ASUKA CLUBへの登録が必要です。





リビングエリアとベッドルームが巧みに仕切られ、プライベートタイムを大切にした設計

ミッドシップスイート *Midship Suite*

コンテンポラリーな内装デザインで、天体をテーマカラーとしたグラデーションで彩られたスイート。

和の趣のある素材の質感が心地よく、何度でも過ごしたくなるリラックス空間が広がります。

各地域の魅力と出会える特別なプロジェクト「ASUKAⅢ meets 47都道府県」は、こちらの客室にて実施します。



スイートでは最も客室数が多く、
お好みの都道府県からも客室をお選びいただけます

DATA

客室クラス: スイート

ロケーション: 7、8、9、10、11デッキ

客室数: 52室 + ユニバーサル仕様客室2室

面積: 44.3㎡(ユニバーサル仕様は44.9㎡)

※バルコニーを含む

利用可能人数: 1～2名(一部3名)

※一部客室はソファベッド1台使用により3名利用可能。

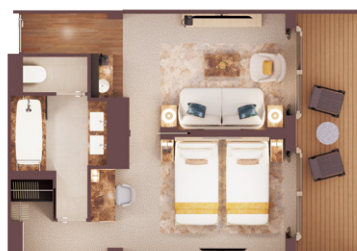
【先行予約】

・寄港地観光ツアー

・レストラン

※寄港地観光ツアーと一部のレストランは有料です。

※先行予約にはMy ASUKA CLUBへの登録が必要です。





バスルームをサイドに配置し、広々とした奥行きのある空間を演出しています

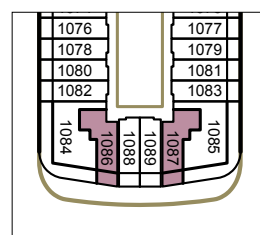
ジュニアスイート *Junior Suite*

船尾方向にバルコニーを備えた8室限定のスイート。

大海原に描かれる白い航跡を眺めながら、贅沢なひとときが過ごせます。

居住性の高さを追求し、リビングエリアとベッドルームの仕切りは開閉式に設計。

シーンに合わせて自由に使い分けられます。



移り変わる空の表情と航跡を眺めながら、至福の時間が過ごせます

DATA

客室クラス: スイート

ロケーション: 7、8、9、10デッキ

客室数: 8室

面積: 33.0㎡ ※バルコニーを含む

※デッキによってバルコニーの形状や面積が異なります。

利用可能人数: 1～2名

【先行予約】

・寄港地観光ツアー

・レストラン

※寄港地観光ツアーと一部のレストランは有料です。
※先行予約にはMy ASUKA CLUBへの登録が必要です。



快適さと自由を追求した客室設計

「飛鳥Ⅲ」の上質で洗練されたスイートは、贅沢な空間と細やかな配慮が融合した、まさに至福の居住空間。その真骨頂は、リビングエリアとベッドルームが巧みに仕切られた間取りにあります。この設計思想は、二人旅の醍醐味である親密な時間と、個々のプライバシーを尊重する独立した空間の両立を可能にしています。窓外に広がる海原を眺めながら、静寂に包まれたプライベートタイムを過ごす、あるいは陽光溢れるリビングでパートナーと語らうなど、くつろぎ方は自分好みに。

さらに、スイートをご利用のお客様は、寄港地観光ツアーとレストランを先行してご予約いただけます。これにより、船上での貴重な時間をより自由に、より快適にお楽しみいただけます。

一方で「アスカスイート」と「ミッドシップスイート」では、ユニバーサル仕様の客室も用意しています。これらの客室では、機能性と利便性を重視し、仕切りのないオープンな間取りを採用。移動の自由度を高めつつ、快適性を追求し設計しています。

ASUKAⅢ meets 47都道府県

「飛鳥Ⅲ」の「ミッドシップスイート」では、これまでにない趣向を凝らしたプロジェクトを実施していきます。それが日本全国47都道府県の魅力が体感できるユニークな試み「ASUKAⅢ meets 47都道府県」です。この企画は、「ミッドシップスイート」の54ある客室のうち、47室に都道府県を割り当て、ご宿泊いただくお客様にその都道府県の多彩な文化や産物を楽しんでいただき、各地域の魅力との出会い、再発見の場を創出することを目的としています。各客室内に、その土地で大切に受け継がれてきた伝統工芸作品や地元の特産品を設え、上質な空間で郷土文化に触れて、見て、食すなど、“五感”で楽しんでいただける工夫を凝らしています。

たとえば民芸の聖地、岩手県をテーマにした客室では江戸時代に花開いた鉄器文化を今に伝える「南部鉄器」や、平安時代末期に奥州平泉を治めた藤原秀衡が京より招いた職人により誕生した「秀衡塗の盛皿」をコンソールテーブルにディスプレイしています。また名産を使用したウェルカムスイーツやドリンクなどもお楽しみいただけます。

さらにこちらのプロジェクトには、各都道府県との緊密な連携が欠かせません。飛鳥クルーズでは地元の金融機関と協力し、地域の魅力を最大限に引き出すためのパートナーシップを築いています。そして、各地域で脈々と受け継がれてきた文化や知る人ぞ知る魅力を発信することで、飛鳥クルーズならではの地域創生の取り組みを進めていきます。

※客室内の装飾は変更する場合がございます。

アスカバルコニー

ASUKA Balcony

「飛鳥Ⅲ」で最も客室数の多い「アスカバルコニー」は、ロケーションも多様に乗船するたびに新たな発見も楽しめます。
光溢れる現代的なレジデンシャル・スタイルが、快適さと居心地の良さを演出します。



バルコニーではコーヒーを飲みながら、ゆったりとしたひとときを満喫いただけます

DATA

客室クラス: バルコニー

ロケーション: 7、8、9、10、11デッキ

※ロケーションによってA、B、C、Dの4つに分かれます。

客室数: 271室

面積: 22.0㎡ ※バルコニーを含む

※船首向きの客室は航行中バルコニーへのアクセスが制限される場合があります。また夜間航行中はカーテンを閉めていただく必要があります。

※船尾向きの客室はデッキによってバルコニーの形状や面積が異なります。

利用可能人数: 1～2名



ソロバルコニー

Solo Balcony

「アスカバルコニー」のクオリティーを取り入れ、お一人様向けの客室に。広々としたベッドとくつろぎのソファを配置し、十分なスペースを確保しています。一人旅を優雅に楽しみたいお客様に最適な空間です。



ノートパソコンを置ける広さのデスクも備え、ワーケーションにも最適

DATA

客室クラス: バルコニー

ロケーション: 7、8、9、10デッキ

客室数: 26室

面積: 19.4㎡ ※バルコニーを含む

利用可能人数: 1名



Column

「CSI awards 2024」ベストステートルーム賞を受賞 世界も認める、くつろぎの客室



船内最多の客室数を誇る「アスカバルコニー」は、飛鳥クルーズのクオリティをさらに高めた客室です。日本の生活スタイルに配慮した設計を意識し、明るい光に満ちた居住空間にはキッチンシンク付きミニバー、L字型ウォークインクローゼットを設置。さらに、半身浴もできるフルサイズバスhtubを備えたバスルームは、非日常の旅においても自宅にいるようなくつろぎを提供します。

この卓越した設計と機能性は、2024年開催の国際的なクルーズ客船のインテリアコンテストである「CSI (CRUISE SHIP INTERIORS) awards 2024」にてベストステートルーム賞を受賞。クルーズ評論家からも「バルコニー客室でこんなに充実した設備を取り入れているのは他船で類をみない唯一無二の存在」と高評価をいただきました。



Winner
Best Stateroom

CSI
awards 2024

日本各地から貴重な和紙アートをご用意

1400年以上の歴史を持ち、日本人の暮らしに根付いてきた和紙。一枚ずつ丁寧に手作りで仕上げるそれは唯一無二の代物。その和紙を使用した一点もののアート作品をバルコニー客室内に飾っています。



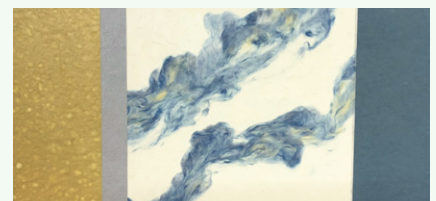
阿波和紙(徳島県)

古くから徳島に伝わる手漉き和紙を唯一守り続けるアワガミファクトリー。工房で作られる藍染めの和紙アートは美しい濃淡カラーと多様な質感が特長。見る角度で異なる表情の豊かさにご注目。



越前和紙(福井県)

日本の三大和紙の一つに数えられ、美しさと丈夫さで最高品質とされている越前和紙。長田製紙所が手がける樓の柄付けの技術「飛龍」を応用した作品は、階層を重ねた奥行きのある模様が特長。



名尾和紙(佐賀県)

梶の木を原料にして作られる名尾和紙を、木の栽培から和紙の制作、販売までを一貫して行う名尾手すき和紙工房。質感の異なる和紙を幾何学的に貼り合わせたアート作品に心を奪われるはず。

滞在の満足度を高める 客室アイテム

華やかで非日常的なパブリックスペースとは対照的に客室は上質さを保ちつつ、居心地の良い快適さを最優先に設計。一日中過ごしても、贅沢な時間が味わえるように、こだわりのアイテムを取り揃えています。



デジタル化対応でワーケーションも思いのままに

船内では衛星通信サービスStarlink（スターリンク/スペースX社）を採用し、Free Wi-Fiを完備。バカンスを楽しむ合間に、仕事をこなすワーケーションスタイルにも対応しています。

さらにペーパーレス化やお客様のタイムパフォーマンス向上を図るため、全客室に

タブレット端末を導入。レストランなどの施設や寄港地観光ツアーの予約が可能です。また、ニュースや映画などの動画コンテンツが楽しめるIPTVを設置。イベント情報や各施設の混雑状況なども知ることができ、船外カメラによるリアルタイム映像や航路図も確認できます。

ランドリーバッグは日本伝統の風呂敷



サステナビリティを重視する環境方針の一環として、風呂敷を各客室に備えています。クリーニングサービス利用の際にランドリーバッグとして活用いただけます。

素材にこだわった上質なアメニティ



お客様に快適さと癒しを届けるため、洗練された選りすぐりのアメニティを用意。入浴後の保湿やトリートメントにもこだわり、贅沢なリラックスタイムが過ごせます。







Savor the Paramount of Culinary Excellence 至福の食体験への誘い

クルーズライフでの醍醐味の 하나가、優雅な食体験です。「飛鳥Ⅲ」では、飛鳥クルーズ伝統の味を受け継ぎ、さらなる進化を遂げ、美食の世界がよりいっそう広がります。個性豊かな6つのダイニングでは、厳選された食材をシェフたちが巧み

な技で極上の料理に仕立てます。自分好みのダイニングとメニューをお好きな時間にお楽しみください。希少なワインやお酒のセレクションも豊富に揃い、空間や料理に華を添えるアートや器とともに、存分に堪能していただけます。



M. Kohama

「飛鳥Ⅱ」で副総料理長を務め、「飛鳥Ⅲ」の調理部門責任者に抜擢。6つのダイニングをプロデュースする。食材選びのために日本・世界各地を飛び回るなど食への探究心に溢れ、常に新しい味を追求している。

ノブレス

Noblesse

厳選した食材を「飛鳥キュイジーヌ」に仕上げる唯一無二のフレンチ



平松礼二氏の作品が随所に飾られ、華やかで上品な雰囲気。テーブルの間隔も広く、家族やパートナーと気兼ねなくディナータイムが楽しめる

DATA

ロケーション: 6デッキ後方

営業時間: 夕食

席料: 不要

予約: 必要

※アルコールおよび一部のノンアルコール飲料は有料です。



日本のテロワール(風土)を大切に、大自然への敬意と感謝を忘れることのないよう
誓いを表現した「貴族のパテ」は、必ず味わいたいスペシャルティ

モダンと伝統が融合したクリエイティブなフランス料理を、
前菜からメイン、デザートまでのコースで、あるいはアラカルトから好みのものを自由を選ぶことができる「飛鳥Ⅲ」のシグ
ネチャーレストラン。メニューも豊富に取り揃え、ワインに合
わせた料理をペアリングでオーダーすることもできます。メ
ニューは月毎に変更され、フランス各地の郷土料理やシーズ
ンにはジビエを使用したアレンジ料理も提供します。



見た目も美しいオマール海老を主役とした一品。丁寧に
仕上げられた盛り付けにも深い満足感が得られるはず



柔らかく繊細な食感が楽しめるラム肉はハーブとの相性も抜群



グランヴァンや希少なワインが揃います。料理と
ワインの相乗効果で最幸のディナーを

アルマーレ

Al mare

プレゼンテーションスタイルの至高のイタリアン



千住博氏の作品と海をイメージした落ち着いたブルーを基調に気品溢れる雰囲気。天井には、波をモチーフにしたシャンデリアが設置され、柔らかな光で店内を包み込みます

DATA

ロケーション: 6デッキ左舷後方

営業時間: 夕食

席料: 有料(ベントハウスクラスのお客様はインクルーシブ)

予約: 必要

※アルコールおよび一部のノンアルコール飲料は有料です。



日本各地から厳選された鯛や伊勢海老、アワビなどの新鮮な魚介がワゴンにずらりと並びます。銘柄豚や鶏、旬のフルーツも豊富に取り揃えています。食材に合わせてシェフが考案する多彩なメニューが自慢



魚介や肉をメインとした本日の厳選食材がワゴンにのってテーブルまで運ばれ、シェフおすすめの調理法を紹介。その中から自分好みのメニューを選んで、あとは楽しみに待つ。食材が至高のイタリアンに姿を変えて供される、圧巻のプレゼンテーションスタイルのレストラン。食材に合わせて多彩なメニューを提供。訪れるたびに新たな味に出会えます。著名人が考案する創作メニューも用意し、お客様を飽きさせない、五感を満足させる食体験をどうぞ。



欧州のキャビアや、日本のクラフトキャビアなど世界中のセレブ垂涎の珍味も常備。食べ比べもできます



シグネチャーディッシュの Pasta。主張のある麺と、和素材を合わせた独創的でありながらもほっとする味わいの一皿

海彦 UMIHIKO

「飛鳥」の伝統を受け継いだ四季を彩る割烹料理



樹齢80年を超える「樺」の一枚板を使用したカウンター。目の前には旬の高級食材が並びます。友人との語らいをゆっくりと楽しみたい場合は奥の個室をどうぞ

DATA

ロケーション: 6デッキ右舷後方

営業時間: 夕食

席料: 有料(ペントハウスクラスのお客様はインクルーシブ)

予約: 必要

※アルコールおよび一部のノンアルコール飲料は有料です。



写真左／日本各地の蕎麦粉を使う二八蕎麦。名店「一東庵」で学んだ蕎麦は滑らかでしっかりとした食感があり、のど越しの良さと蕎麦の香りが楽しめます。重要無形文化財保持者(人間国宝)の井上萬二氏の器で提供 写真右／煮だこ、雲丹の和牛包みなど、日本酒や焼酎に合う品々も

「飛鳥」「飛鳥Ⅱ」と愛され続ける「海彦」。「飛鳥Ⅲ」では日本料理の文化と春夏秋冬を感じさせる割烹料理を一品一品お好みで注文できるのが嬉しい。料理のベースとなる鰹節、昆布、煮干し、椎茸などから丁寧にとった出汁は逸品。その出汁は先付けとしても提供します。魚介類から肉料理まである幅広いメニューの中には、ほっとするような家庭的な味わいの一皿も用意。お客様の多様なニーズにお応えしていきます。備前焼、有田焼、丹波焼、瀬戸焼など料理人が日本各地から選んだ器も料理を引き立てます。カウンターでは料理人やスタッフと会話しながら食事できるのが魅力。お祝い事などに利用できる個室もあります。「海彦」入口の銘板は天賦の才で知られる書家・金澤翔子氏によるもの。



写真上／旬の食材で提供される刺身の三種盛り
写真下／お祝いの日のディナーに華を添える伊勢海老姿造り



日本全国から選りすぐりの珠玉の銘酒を用意。
繊細な味わいと芳醇な香りをお楽しみください

フォーシーズン・ダイニングルーム

Four Seasons Dining Room

懐かしさと新しさが融合する洋食の饗宴



「飛鳥Ⅲ」のメインデッキに位置するダイニング。広々とした空間には上質で落ち着いた雰囲気が漂います。海の表情をより身近に感じながら、優雅な食事が楽しめます

DATA

ロケーション: 5デッキ後方

営業時間: 朝食、昼食、夕食

席料: 不要

予約: 不要

※アルコールおよび一部のノンアルコール飲料は有料です。



写真左／シグネチャーディッシュの「ハンバーグ」。赤身の高タンパクでアミノ酸をたっぷりと含む「いわて短角牛のモモ肉」と、「飛鳥豚」を使い、噛むほどに肉本来の旨味が広がります。ほどよい酸味のデミグラスソースはご飯が進む美味しさです 写真右上／旬の食材のカプレーゼ 写真右下／船旅には嬉しい和食用意



ワインセラーにはソムリエが厳選した国内外のセレクトワインがずらりと並びます

「飛鳥」「飛鳥Ⅱ」から続く、伝統の名が付けられたオールデイダイニング。コンセプトは一新され、日本で生まれた西洋料理を、四季折々の食材で仕立てたコース・セット料理とアラカルトで提供します。体に優しく美味なる「ハンバーグ」のほか、日本の客船文化の中で育まれてきた洋食メニューなど、ほっとできる料理が揃います。営業時間はディナータイムのほか、朝食、ランチタイムにも利用可能。刻一刻と変化する海の表情が、美食体験に彩りを添えます。

エムスガーデン

EMS Garden

世界の美食を一堂に集めたガーデンダイニング



開放感があるスタイリッシュな空間で、世界各地の名物料理を楽しい演出とともに味わう「飛鳥ビュッフェ」。世界を巡ってきた料理人が手がけるバリエーション豊かな料理が自慢です。「マンスリーハンバーガー」など趣向を凝らしたメニューも用意。ディナーでは各国を代表するワインやビールなどの銘酒も揃います。

朝食から夜食タイムまで
移りゆく景色とともに。
季節によっては朝焼けの
美しい景色を見ながら、
朝食が楽しめます



ワールドワイドな料理が並ぶビュッフェライン。時間によってはトスサラダやデザートワゴンサービスもあります



DATA

ロケーション: 11デッキ後方

営業時間: 朝から深夜まで時間帯に合わせた料理を提供

席料: 不要

予約: 不要

※夕食時、指定銘柄のスパークリングワイン、ワイン、ビールはインクルーシブ。その他のアルコールおよび一部のノンアルコール飲料は有料です。

ステーキや点心のほか、長旅では嬉しい新鮮野菜をふんだんに使用したサラダ、豊富なデザートを用意。夜食としてお茶漬けの準備も



グリルレストラン パペンブルグ

Grill Restaurant Papenburg

デッキで仕上げる厳選スパイスのグリル料理



「飛鳥Ⅲ」が建造された造船所がある、ドイツ北部の街の名を冠したグリルレストラン。厳選した肉や魚介、新鮮な野菜をシンプルに焼き上げ、オリジナルのこだわりスパイスで味わうグリル料理を提供。備長炭を使用した炭火焼きグリルは後部オープンデッキで焼き上げる演出で、テラス席ではライブ感が楽しめます。

「エムスガーデン」(11デッキ)の船尾エリアがディナータイムにはグリルレストランに



牛肉の希少部位を最高に美味しく焼き上げます



DATA

ロケーション: 11デッキ後方

営業時間: 夕食

席料: 不要

予約: 必要

※アルコールおよび一部のノンアルコール飲料は有料です。

写真上／ぎっしりと身が詰まった「伊勢海老の炭火焼き」。濃厚な海老味噌とともに 写真下／さまざまなスパイス、マスタードなど種類豊富な調味料を用意。好みに合わせて





「ノブレス」(6デッキ)／
入口では平松礼二氏の
作品がお出迎えします

Dining with Art & Décor

アートに囲まれて

「飛鳥Ⅲ」の各レストランでは、厳選された食材と心を込めたおもてなしに加え、「至福の食体験」をさらに深める特別な要素があります。それは日本を代表する作家によるアート作品・工芸作品に囲まれながらの食体験です。一流の芸術作品、雄大な自然、洗練された内装、これらの要素を全て兼ね備えている贅沢な空間にはなかなか出会えません。レストランの入口からアートがお出迎えする、そのような特別な空間で提供される贅沢な一品こそが、ほかにはない本物の感動をもたらし、お客様を「至福の食体験」に誘うことができると考えています。



「海彦」(6デッキ)／有田焼の十四代 今泉今右衛門氏、十五代 酒井田柿右衛門氏、唐津焼の十四代 中里太郎右衛門氏、歴史の深い窯を受け継ぎ「肥前の三右衛門」といわれる三大名跡による作品を展示。カウンター奥には若手漆芸家たちの合作で手がける漆芸作品も展示

「エムスガーデン」
(11デッキ)／大きな窓から望む美しい夕景を眺めながら、贅沢な食事を楽しむことができます





「アルマーレ」(6デッキ)／千住博氏の作品を目の前に料理を堪能できます

美食を嗜む

「フォーシーズン・ダイニングルーム」(5デッキ)／入口には四季をテーマに描かれた田村能里子氏の華やかな4枚の作品が飾られています



「アルパトロスプール」(11デッキ)／
木目の美しさを活かしたデザイン
で、ウォールグリーンが癒しを演
出します



Set Sail on a Cruise Resort

ようこそ洋上のリゾートへ

非日常の世界を体験できること、それがクルーズの魅力です。特に高層に位置する11～13デッキは、その醍醐味が凝縮された空間といえます。水平線が遥か彼方まで広がる大パノラマ、360度海に囲まれた景観は、圧巻の一言。お客様の心に深い感動を与えてくれるでしょう。そして移りゆく風景と、朝焼けから夕暮れへと変わる空のグラデーションは、まさに一期一会。その瞬間でしか出会えない本物の感動を最大限に味わっていただくため、プールやバー、ラウンジ、テラスを用意。海風を感じながらくつろげる開放的なエリアで、唯一無二の体験をぜひ。



「スカイテラス」(12デッキ)／船尾の展望エリアにくつろぎのソファを設置。ここには何もしい贅沢が待っています



「プールサイドバー」(11デッキ)／大人の時間を演出するリゾートバー。季節の野菜やフルーツを使用したカクテルや、ここだけのオリジナルメニューを提供



「ビスタラウンジ」(11デッキ)／船首に位置する眺望の良いラウンジ。美しい夕景や入港シーンなどは一生の思い出に



「グランドスパ（展望大浴場）」(12デッキ)
／船首に位置するグランドスパは展望サウナも併設。針路を望み入浴できるのが自慢

Your Wellness Journey Begins Here

ウェルネスな旅も思いのまま

洋上の絶景と贅沢な空間で心身ともに癒される、そんなウェルネスが11、12デッキには満ちています。船首に位置する「グランドスパ」は、日本船ならではのおもてなし。展望大浴場からは船の針路を、露天風呂からは移り行く大海原を眺めながらゆっくりと湯に浸ることができます。また各種スポーツエリアも完備。インストラクターによる指導のもと健康的に体が動かせます。ヨガなどのレッスンも定期的で開催しており、心身のリフレッシュが図れます。贅沢な船旅と健康を両立させる、新しい洋上ウェルネスの形を提案しています。



「アルバトロスプール(ジェットバス)」(11デッキ)／空一面に輝く星々を眺めながらリフレッシュ。ジェットバスは2台設置



「グランドスパ（露天風呂）」（12デッキ）／海風を感じ、波の音に耳を傾けながらほっと心がほぐれる時間をお楽しみいただけます。月光が海に浮かぶ幻想的な景色を眺めながらの入浴は飛鳥クルーズならではの



「アスカ ウェルネスクラブ」（12デッキ）／24時間自由に使えるフィットネスセンター。ランやマシンでのトレーニングが可能。インストラクターによるトレーニングのサポートもご致します



「アスカ サロン＆スパ」（12デッキ）／オリジナルコスメを使用したスパでのトリートメントなど、至福の安らぎを提供します（有料）



「ザ・リンクス」（12デッキ）／アメリカのトッププロも絶賛する本格的ゴルフシミュレーター「フルスイング」を導入。世界の有名コースでのプレーができる体感型ゲームをお楽しみください



「スタジオA3」（11デッキ）／ヨガやエアリアルヨガなどのウェルネスプログラムや、知的好奇心を満たす講座などさまざまなレッスンを開催。レベル毎にクラス分けをし、乗船中に初級から中級、上級へとクラスをステップアップすることも可能

※一部有料レッスンもございます。
ペントハウスクラスのお客様は
インクルーシブ。
※写真はイメージ。





Dynamic Urban Nightlife Meets Refined Entertainment

好奇心を刺激する アーバンエリア

都会の夜を思わせる煌めく空間が広がる5～7デッキ。お洒落を楽しみ、自分が主役になったかのような気分を味わえます。日本の美意識が宿るショーは、最先端のデジタル技術とダンス、音楽が融合。カジノやデジタルシャッフルボードなど、好奇心をくすぐる遊び場も充実。ショーの開演前後は、気軽にカジノやバーに立ち寄れます。夜深くなれば、バーで語らいのひとときを。遊び方は自由自在。心に残る感動が味わえる「飛鳥Ⅲ」の大人の遊び場です。

パフォーミングアーツ演目一例

「KAGUYAーかぐやー」
プロデュース：「一旗」

「竹取物語」をオマージュし、月や竹林、天の川、屏風絵の世界など日本ならではの情緒的な美と舞踊で幻想的なストーリーを紡ぐオリジナル作品。

※クルーズ中複数回のステージを開催。
お好きな時間に鑑賞ができます。





「リュミエール シアター」(6デッキ)／最先端のデジタル技術を駆使した、ホログラフィックスクリーンやLEDスクリーンの幻想的でダイナミックなデジタルアート映像とダンスパフォーマンスが融合した新感覚のイマーシブ(没入型)パフォーミングアーツを予定



「カジノ アンティ」(6デッキ)／ルーレットやブラックジャック、ポーカー、スロットマシンなどが揃う。デジタルシャッフルボードや「スプリットカウンター」を併設。シアター鑑賞の前後に、立ち寄るのもおすすめです

※カジノは有料。「飛鳥Ⅲ」は日本船籍につき、チップやコインを現金や記念品に交換することはできません。

「ブティック シェルメ」(5デッキ)／アパレル商品を中心に取り扱い扱うセレクトショップ。クルーズシーンを彩るインポートブランド商品も用意



「ジュエリー オープ」(5デッキ)／宝飾品が揃うセレクトショップ。旅先でも気軽に身につけられるジュエリーも取り扱います



「721 ブックス&カフェ」、
「フラワーハウス」(7デッキ)／知的探求へと誘う書籍などを取り揃えています。その並びにはクルーズ船内には珍しいフラワーショップを配置。特別な一日の演出に、花束を贈るのはいかがでしょうか

Column

お洒落を楽しむ 大人の夜遊び

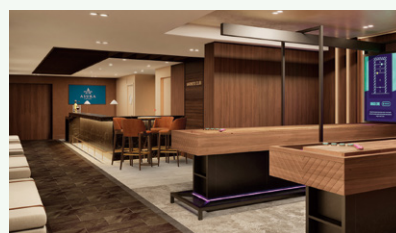
「マリナーズクラブ」(6デッキ) 営業時間／ナイトタイム 格調の高い「飛鳥Ⅲ」のメインバー



「アンカーバー」(5デッキ) 営業時間／デイ&ナイトタイム 日本の銘酒を取り揃えています。華を添えるのは岩田壮平氏の日本画



「ビスタラウンジ」(11デッキ) 営業時間／モーニング、デイ&ナイトタイム 絶景を楽しみながらゆっくりと過ごせます



「スプリットカウンター」(6デッキ) 営業時間／ナイトタイム カジノに併設した気軽に立ち寄れるバー

夜のとぼりが下りると華やかになるのが大人の遊び場。船内には、ナイトシーンを彩る魅力的なバーやラウンジを複数揃えています。いずれも上質な雰囲気の中で、世界各国の銘酒やオリジナルのカクテルなどを楽しみながら、優雅なひとときを過ごすことができます。「飛鳥Ⅲ」のメインバー「マリナーズクラブ」ではピアノの生演奏が流れ、窓越しに広がる大海のサン

※バーでの飲料は有料です。

セットを眺めつつワンランク上の美酒を味わう、ということも。一方、「アスカプラザ」横の「アンカーバー」は国内から厳選した銘酒を用意。各地の希少な一杯に舌鼓が打てます。また気分をいっそう高めてくれるのがドレスアップ。「飛鳥Ⅲ」のドレスコードは「エレガントカジュアル」のみ。男性ならジャケットコーデでもタイの有無は自由。思っておもいのお洒落が楽しめます。



Ports of Discovery Await

寄港地での出会い

海からアプローチする目的地。船だから見ることでできる美しい景色、港で歓迎してくれる地元の人々の笑顔に一瞬で虜になる。飛鳥クルーズでは、伝統文化、絶景、郷土料理など、その土地ならではの魅力を五感で体験する寄港地観光ツアーをご提案。
心に刻まれる出会いの数々が、お客様の人生を豊かに彩ります。

「飛鳥Ⅲ」で叶える旅「A3エクスペリエンス」も登場

「A3エクスペリエンス」とは？

寄港地観光ツアーのラインアップに「A3エクスペリエンス」が登場します。「飛鳥Ⅲ」のお客様だけの特別な体験や、現地の文化に深く触れる、とっておきの旅へ誘います。

貴重な本物の経験を五感で感じる

「飛鳥Ⅱ」でも実施している船内で取り扱う食材の生産者や、船内で展示する工芸作品の作家のもとを訪れて、作り手の想いや土地の魅力を直接感じられる独自体験の寄港地観光ツアーを「飛鳥Ⅲ」でも予定しています。

事前のWEB予約制がスタート

寄港地観光ツアーは、乗船前にWEBにてご予約いただけるシステムを導入。スイートのお客様は一般受付前に先行してご予約いただけます。

※寄港地観光ツアーは定員制別料金です。
ペントハウスクラスのお客様はインクルーシブで、
好きなツアーにご参加いただけます。

【A3エクスペリエンスの一例】



小樽・ワイナリー見学と地下特別室での ワインペアリングランチ

小樽郊外のワイナリーで、バーチャルヴィンヤード体験と地下特別室で地元名店館とのペアリングランチを堪能。帰路は小樽の名所・堺町通りで散策を。日本ワインの魅力に酔いしれる、大人の小旅行をお楽しみください。

※ツアー内容は同じ寄港地でも寄港日毎に異なります。



お客様に合わせた 過ごし方をご提案

「アスカブラザ」隣接の「トラベラーズサロン」(5デッキ)では、寄港地観光ツアーのご予約やご相談を承ります。このほか、お客様に合わせた寄港地での過ごし方などもご提案いたします。





Building a New Standard in Cruise Excellence

新時代の船旅を目指して



日本船籍最大の新造客船として、新たな時代のクルーズライフを拓いていく「飛鳥Ⅲ」。2020年から計画が進められ、建造は2023年秋、ドイツ北部エムス川が流れる内陸の街パペンブルグにあるマイヤー ベルフトで始まりました。200年を超える造船の歴史を持つ世界有数の造船所で、屋内造船ドックは世界最大級の規模を誇ります。実績は豊富ながら日本の客船を手がけるのは初めて。そのため「飛鳥Ⅲ」のこだわりである湯船の深さや和食を作るギャラリーの設備、客室の設えなど、丁寧に議論を重ねて設計。郵船クルーズも造船所内にサイトオフィスを構え、建造の立ち会いや工期確認など造船所と常にコミュニケーションを図りながら着々と建造を進めてきました。技術力の高いドイツの造船所で、日本人の愛情をたっぷり注いで造られたのが「飛鳥Ⅲ」なのです。

2つある建屋のうち、中型客船建造建屋で造られた船舶プロジェクト番号「S.721」は、その後「飛鳥Ⅲ」と命名され、2025年1月に進水し、建屋の外へ姿を現しました。



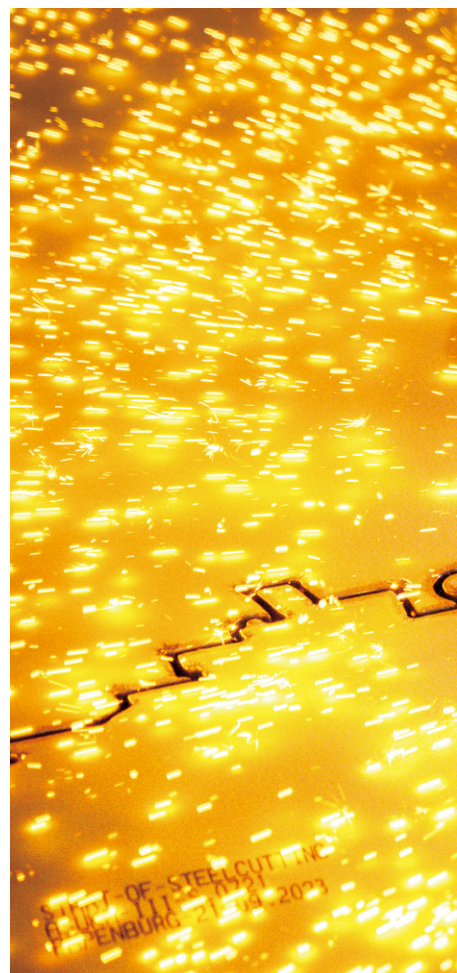


2023年

スチール・カッティングセレモニーで建造がスタート

2023年9月に建造の幕開けを祝う式典、スチール・カッティングセレモニーが行われました。これは船舶建造に用いる鋼板をレーザーカッティングで切り出し、建造の幕開けを祝うという伝統的な式典。さらに同年12月には建造と航海の安全を祈るキール・レイニングセレモニーを実施しました。船舶で最も重要な部分である“キール”（竜骨）を設置する際に、船の建造と航海の安全を祈願してラッキーコインを置くという、こちらも伝統の儀式です。客船の誕生には節目節目に、このような儀式を行い、祝福と希望を込めていきます。

ニールを実施しました。船舶で最も重要な部分である“キール”（竜骨）を設置する際に、船の建造と航海の安全を祈願してラッキーコインを置くという、こちらも伝統の儀式です。客船の誕生には節目節目に、このような儀式を行い、祝福と希望を込めていきます。





2024-2025年

「二引」の煙突が到着し、いよいよ建造も佳境に

2024年2月に船の骨格と外郭を形成する船殻ブロックの船底部分を水に浮かべて、造船所内で“初航海”を経験。その後いくつかの船殻ブロックや特長のひとつであるLNG燃料タンクを設置し、7月には「飛鳥Ⅲ」の外観が出来上がりました。秋からは本格的に内装工事が進められ、POD電気推進装置も搭載。そして11月末に日本郵船グループの船であることを示す、赤い「二引」の

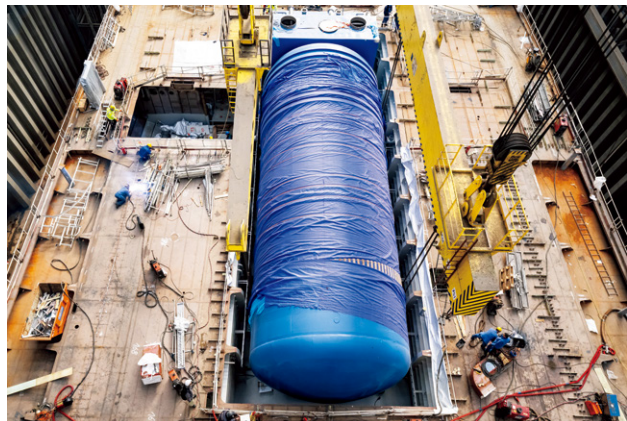
ファンネル（煙突）がエムス川を遡上し造船所に到着。2025年1月の進水時にファンネルが「飛鳥Ⅲ」に無事、設置されました。

「飛鳥Ⅲ」は2025年4月にドイツを離れ、2025年夏、母港の横浜から就航します。船首側面には書家の矢萩春恵氏が揮毫した躍動感のある船名板をあしらい、その勇姿とともに日本と世界の海を巡っていきます。



Eco-Ship Innovation for a Sustainable Journey

環境に優しいエコシップ



船体に設置されるLNGタンク。重油・軽油・ナチュラルガスの計3種の燃料を使用できるトリフューエルエンジンを搭載



D.P.S.の重要な役割を担うPOD電気推進装置を設置

環境に配慮した機器を搭載

新造客船の基本コンセプトのひとつとして、環境負荷の低減が挙げられます。「飛鳥Ⅲ」では石炭や石油に比べて環境への負荷が少なく、脱炭素社会の実現に貢献できるエネルギーであるLNG＝液化天然ガスを含む3種類の燃料に対応している点が大きな特長となります。また、最新のルールである窒素氧化物排出削減規制にも対応。この試みは中型客船(5万トンクラス)では先進の取り組みとなります。また寄港地によっては陸上電源の供給を受けることが可能であり、投錨せずに船の位置を制御できるD.P.S.(ダイナミック・ポジショニング・システム)を採用しています。このシステムにより、海底植物などへの損傷を最小限に抑えることができます。これらの技術は日本のクルーズ船としては初めての導入であり、最新鋭の設備を搭載した革新的なエコクルーズ船を目指しています。

デジタルを活用しペーパーレス化へ

船内では、お客様の利便性と環境配慮を目的としたペーパーレス化に取り組んでいきます。チェックインや乗船中の客室の鍵がお客様自身のスマートフォンで行えるよう専用アプリを導入。各客室には、タブレット端末を設置し、船内で行われるイベントの内容や混雑状況の配信、乗船中のレストランや寄港地観光ツアーの予約も可能となります。また、パブリックエリアには大型ディスプレイのデジタルサイネージを設置。最新情報をリアルタイムで確認することができます。これにより、紙の配布物や掲示物の大幅な削減を目指します。これらのペーパーレス化への取り組みは、クルーズ業界における環境配慮の事例として、今後さらなる進化を図っていきます。





History of ASUKA Cruise

初代「飛鳥」から「飛鳥Ⅲ」へ

飛鳥

1991年10月28日就航～2006年



飛鳥Ⅱ

2006年2月26日デビュー～





文化と地域の架け橋に

日本のクルーズ文化を創造し、発展をリードしてきた飛鳥クルーズ。これまでの道のりと未来への希望を込めて、2025年に新たに就航する客船を「飛鳥Ⅲ」と命名。この新しい船名には、文化と地域の架け橋となるという願いと、飛鳥クルーズの発展的継続という想いが込められています。

レジャークルーズの先駆者

初代「飛鳥」は、日本船籍最大の豪華クルーズ船として1991年10月28日に三菱重工業長崎造船所で竣工。当時は好景気の影響で日本人の海外旅行への関心も高く、豪華クルーズ船への憧れも強くなっていました。しかし、主にレジャーを目的としたクルーズ船は日本には存在しておらず、本格的な設備やサービスを導入した初代「飛鳥」は、その分野における先駆者となりました。船名は、日本の文化の黎明期である約1400年前の飛鳥時代に咲き誇った「飛鳥文化」に由来しています。新たな洋上文化

を創ることを目指した初代「飛鳥」は、日本人の嗜好に合わせた和の要素を船内施設やサービスに取り入れた、世界最高水準の設備を誇る客船として注目を集めました。

日本の伝統文化を世界に発信

日本におけるクルーズ文化が徐々に市場へと認知され、活況を帯びていく中で、より質の高いおもてなしを提供する「飛鳥Ⅱ」が2006年に就航します。この頃、日本では団塊世代が60歳の定年を迎えはじめ、余暇を楽しむシニア層が増加してきました。「飛鳥Ⅱ」は、こうした需要に応える形で、大浴場「グランドスパ」や寿司「海彦」など日本人のニーズに合わせた設備を搭載。さらに日本の伝統工芸の粋につながる感動体験として、世界で唯一の船上常設展を実現。本物の作品と旅をするという唯一無二の魅力を備えています。同時期に起きたクールジャパンのブームも追い風となり、日本文化の素晴らしさを世界に発信する役割も担いました。

2015年には訪日クルーズ旅客数が100万人を突破するなど、インバウンド需要が高まり、日本各地の港も豪華客船が停泊できる設備を整えていきます。それに伴い、「飛鳥Ⅱ」では各地方を目的地にした短期クルーズプランを増加。地域とのつながりを深めつつ、短期間でのクルーズ旅行を楽しみたいというお客様のニーズにも応えてきました。

本物の体験をお届けする

そして2025年夏、さらなる進化を遂げる「飛鳥Ⅲ」が船籍港の横浜にその雄大な姿を現します。横浜は明治時代より歴史的に日本郵船とのつながりが強く、飛鳥クルーズとしても初代より発着港として多くのお客様をお迎えしてきた地でもあります。「飛鳥Ⅲ」は「飛鳥Ⅱ」とともに飛鳥クルーズの伝統を未来へと力強くつなげる役割を担い、次の時代に向けた本物の体験をお届けすることを目指していきます。

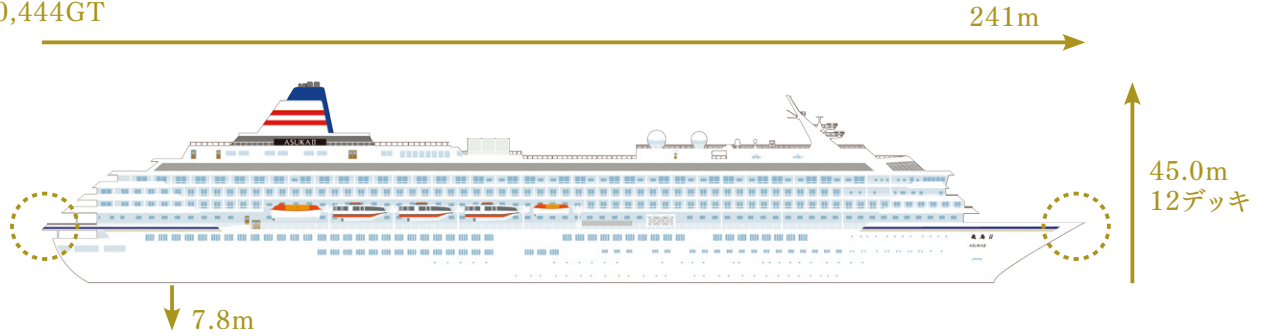


Dual Cruise Collection

「飛鳥Ⅲ」と「飛鳥Ⅱ」での2隻運航

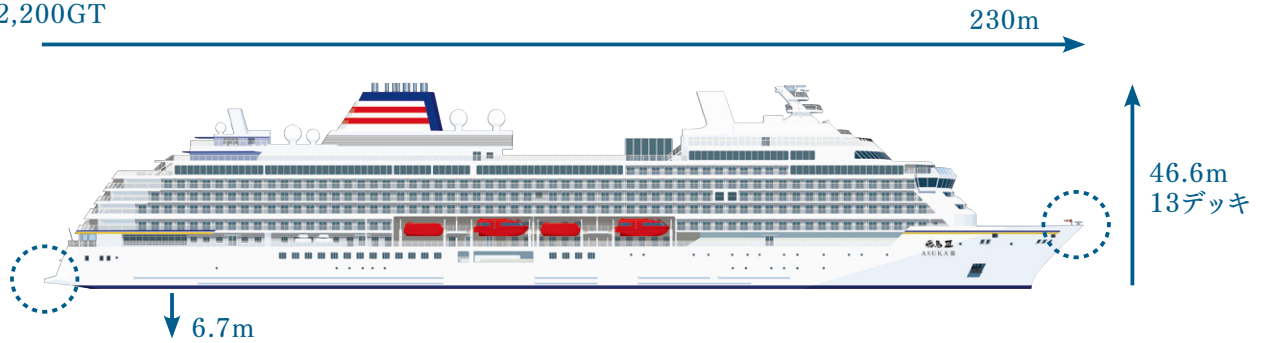
飛鳥Ⅱ

50,444GT



飛鳥Ⅲ

52,200GT



船名	飛鳥Ⅲ	飛鳥Ⅱ
目的	四季、ベストシーズンを旅する	
特長	3泊からロングクルーズまで。 お客様好みに広がる旅	1泊からロングクルーズまで。 お客様の好みに寄り添う旅
全長	230m	241m
全幅	29.8m	29.6m
喫水	6.7m	7.8m
総トン数	52,200GT	50,444GT
客室数	385室	436室
乗客数	744名	872名
乗組員数	約470名	約490名
航海速力	最高20ノット(約37km/h)	最高21ノット(約39km/h)

2025年2月現在

自分好みで選べる「飛鳥III」

オールバルコニーの客室

旅のスタイルで選べる
3つの客室クラス

[ペントハウス]

- ・ロイヤルペントハウス
- ・グランドペントハウス

[スイート]

- ・キャプテンズスイート
- ・パノラマスイート
- ・アスカスイート
- ・ミッドシップスイート
- ・ジュニアスイート

[バルコニー]

- ・アスカバルコニー
- ・ソロバルコニー

6つのダイニング

お好きな時間に
お好きなメニューを

- ・ノブレス
- ・アルマーレ
- ・海彦
- ・フォーシーズン・
ダイニングルーム
- ・エムスガーデン
- ・グリルレストラン
バペンブルグ

バー & ラウンジ

一つひとつにコンセプト
お気に入りの場所が見つかる

- ・マリナーズクラブ
- ・アンカーバー
- ・スプリットカウンター
- ・プールサイドバー
- ・ギャラリーカフェ
- ・721 ブックス&カフェ
- ・ビスタラウンジ
- ・ヒストリアエリア
- ・リーベルラウンジ

リラクゼーション & スポーツ

ウェルネスな旅も思いのまま

- ・グランドスパ
(展望大浴場/露天風呂/展望サウナ)
- ・アスカ サロン&スパ
- ・アスカ ウェルネスクラブ
- ・ザ・リンクス
- ・アスカ フィールド
- ・スタジオA3
- ・アルバトロスプール
- ・スカイテラス
- ・スターライトビーチ
- ・ブロムナードデッキ

エンターテインメント & ショップ

知的な好奇心が満たされる大人の遊び場

- ・リュミエール シアター
- ・カジノ アンティ
- ・碧一色
- ・アスカコレクション
- ・ブティック シェルメ
- ・ジュエリー オープ
- ・フラワーハウス

インフォメーション

24時間日本語で過ごせる安心感
快適なクルーズライフのために

- ・アスカプラザ
- ・レセプション
- ・トラベラーズサロン
- ・診療室
- ・セルフサービスランドリー
- ・Free Wi-Fi

ASUKA III Style

- ・アートで彩られた上質空間
- ・ドレスコードは「エレガントカジュアル」
- ・ワーケーションスタイルも叶うデジタル環境
- ・寄港地での出会いと体験

飛鳥Ⅲ

Deck Plans

デッキプラン

- ロイヤルベントハウス
- グランドベントハウス
- キャプテンズスイート
- パノラマスイート
- アスカスイート
- ミッドシップスイート
- ジュニアスイート
- アスカバルコニー A
- アスカバルコニー B
- アスカバルコニー C
- アスカバルコニー D
- ソロバルコニー

◆ ユニバーサル仕様の客室

I コネクティングドア

▲ 船首向きのバルコニーは航行中アクセスが制限される場合があります。また、夜間航行中は船首向きの窓はカーテンを閉めていただく必要があります。

* ミッドシップスイートで以下の客室はソファベッドを使用することで3名利用が可能です。

8028、8029、8030、
8031、8070、8071、
8078、8079、8080、
9054、9055、9057

WC トイレ (女性)

WC トイレ (男性)

車いすでのご利用が可能なトイレ

セルフサービスランドリー

EV エレベーター

シャワー

喫煙ルーム

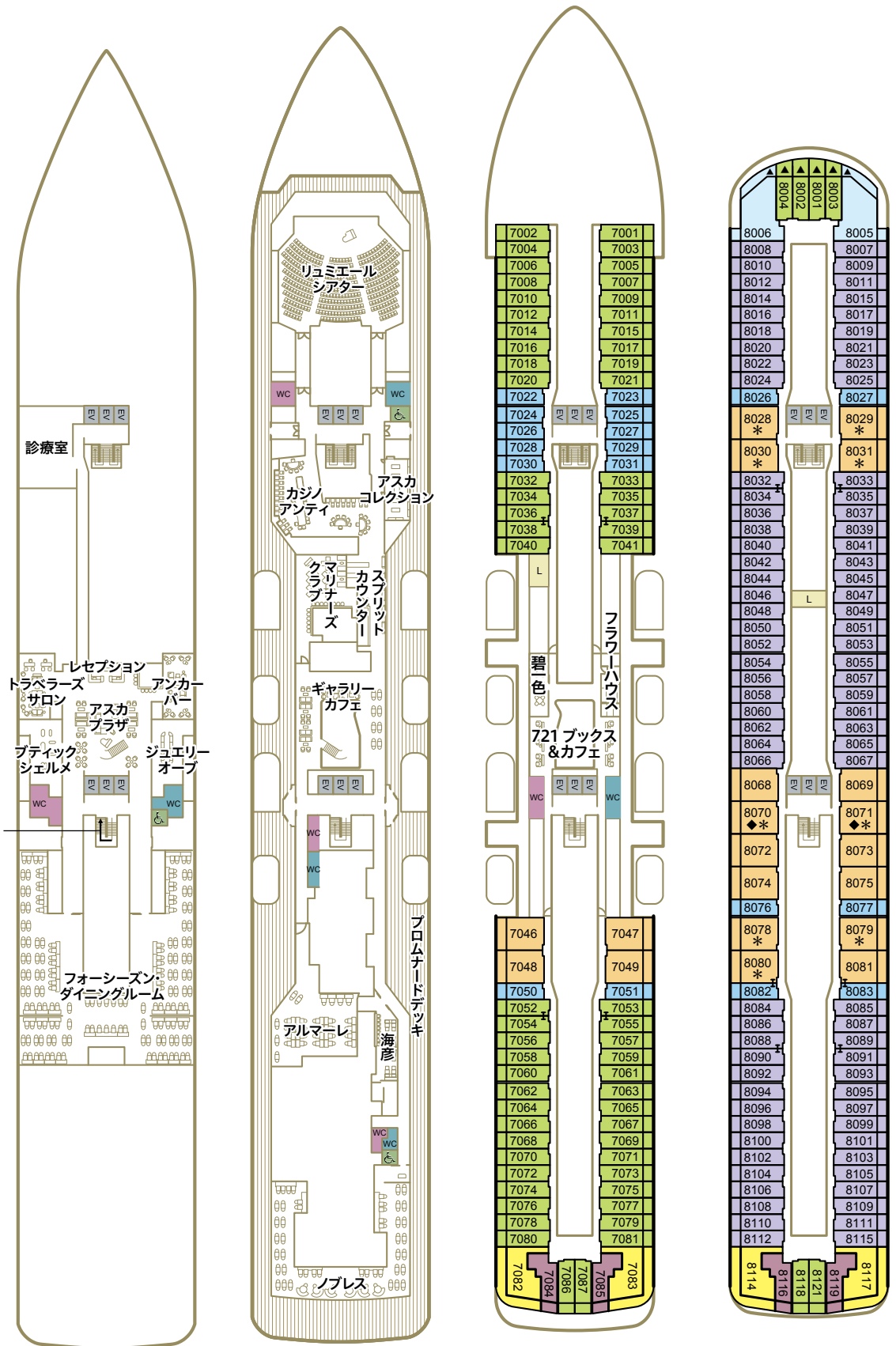
「飛鳥Ⅲ」の今、をお届けします。
特設サイト
「A-TIMES」はこちら



飛鳥クルーズを極める会員クラブ。
My ASUKA CLUB
ご登録はこちら (無料)



至 4 デッキ
テンドー
ステーション



DECK 5

メインデッキ

DECK 6

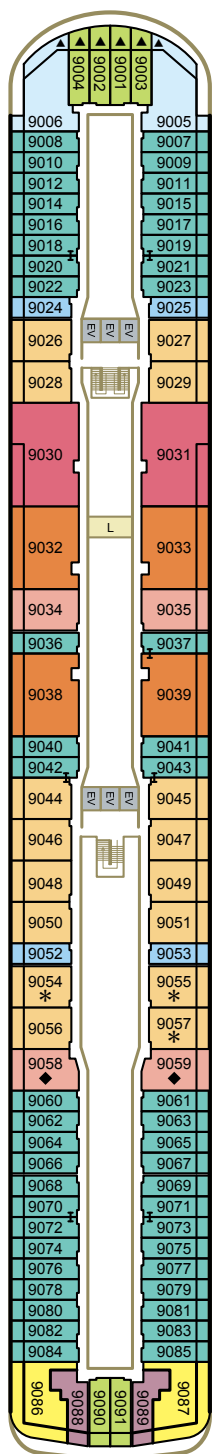
プロムナードデッキ

DECK 7

プラザデッキ

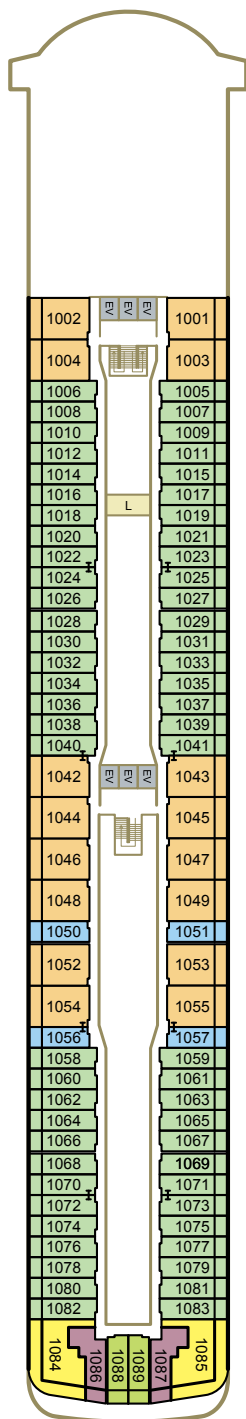
DECK 8

ホライゾンデッキ



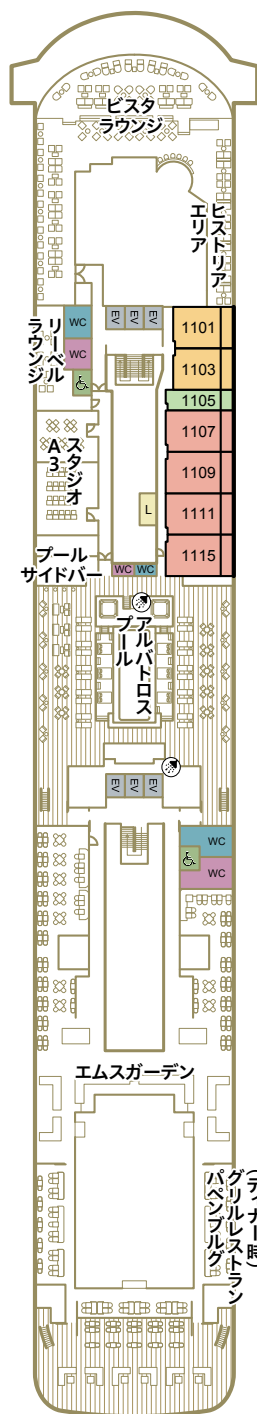
DECK 9

シーブリーズデッキ



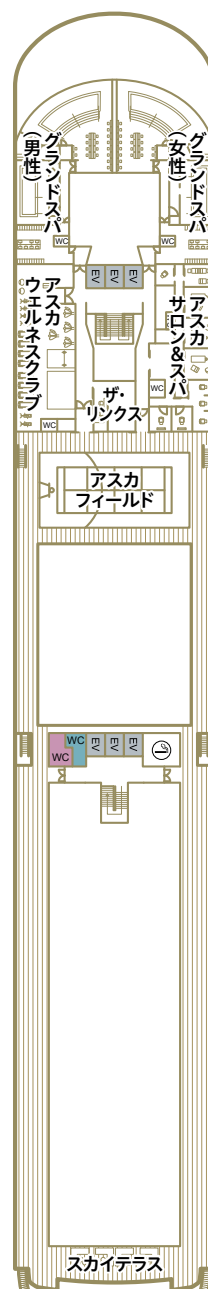
DECK 10

アスカデッキ



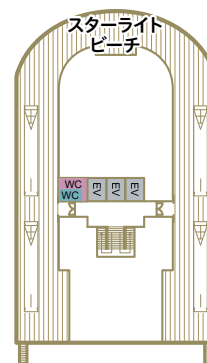
DECK 11

リドデッキ



DECK 12

スカイデッキ



DECK 13

スターライトデッキ







ASUKA
CRUISE